

# あべともこニュース

市民を分断するやり方は、断じて許されない。

## ◆ALPS処理水、放出直談判へ：

福島第一原発から発生し続けている汚染水を濾過した「ALPS処理水」の海洋放出がいよいよ始められようとしています。この間、全漁連をはじめ、地元住民・海外からも反対の声が上がる中、20日に岸田総理自ら「直談判」のため福島へ。「廃炉を着実に進め福島の復興を進めていくため、先送りできない課題」としています。が、そもそも廃炉すら見通しが立たず、30年という保証もありません。

18日には、「汚染水を海に流すな！官邸前行動と国会内集会」が開催。政府と東電に放出の見直しを求めました。政府は、IAEA（国際原子力機関）のお墨付きで「安全だ」としていますが、この水は溶け落ちた燃料デブリを通過し、トリチウム以外の核種も混ざっています。しかも、環境への影響は調べられていません。海・地球を汚染し続けることは断じて許されません。今こそ海洋放出以外の方法を選択すべきです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
 当選8回、東京大学医学部卒業、  
 小児科医、あべともこ子ども  
 クリニック（湘南台）理事長  
 現在、厚生労働委員会  
 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ  
公式Twitter  
@abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ  
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

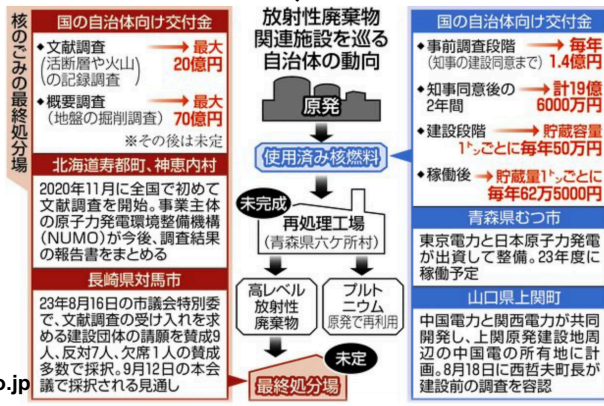
あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、  
ボランティアスタッフ募集

## ◆使用済核燃料の処分を押し付け

18日、山口県上関町が中国電力から申し入れのあった使用済み核燃料の「中間貯蔵施設」設置に向けた調査について、受け入れを表明しました。町では、41年前に原発計画が浮上りましたが、中断されたまま、賛成派と反対派の間で分断が生じています。



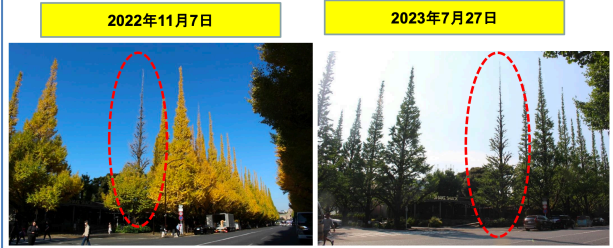
図：東京新聞、『原発を積極活用したい政府…「原発マネー」に頼らざるを得ない自治体は山口・上関町だけではない』2023/8/19

## ◆神宮外苑、開発の見直しを！

16日、神宮外苑再開発計画の論点について勉強会を開催。いよいよ新ラグビ―場建設の為の「建国記念文庫の森」地域の伐採が本格化し、他方、銀杏の立ち枯れの懸念も現実のものとなりつつあるなか、今何ができるかを有識者から話を伺いました。

はじめに、元東京都顧問小島敏郎氏から問題提起。小島氏は、いわゆる「オリンピック利権」と指摘されるスポーツクラスターではなく、由緒ある公園都市として「再整備」するには、都知事が100年後の日本と東京都の姿を見据えて、「創建の志」に立ち返り「再整備」をすべきだと。続いて、この間樹木調査等をされてきた石川幹子東大名誉教授から、枯れ始めた銀杏並木の現状と緑あふれる本来あるべき都市公園の機能についてお話しいただきました。

並木 A 列 青山口から絵画館方向 左手より1列目	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
A-11 毎木調査番号 29	23.0	283	10.0	d 梢・樹幹枯損



出典；石川氏提供資料。銀杏並が既に枯れつつある…